

## 平成30年度 沖縄県立博物館・美術館施設 指定管理者 モニタリング(平成29年度実績分) シート

## I. 履行確認

## 1. 維持管理業務

## (1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
清掃と衛生管理の徹底を図り誰もが快適に利用できる施設環境を整えます。 ①展示エリア (展示室等) ②収蔵エリア (収蔵庫等) ③教育普及エリア (実習室等) ④調査研究エリア (学芸員研究室等) ⑤管理エリア (エントランスホール等) ⑥その他 (廊下、階段等) ⑦屋外付帯施設 (駐車場、外周等)		○	〈日常清掃〉 ・施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、日常清掃を計画的に実施。 ・開館中は、各トイレの巡回点検清掃を計画的に行い、各展示室のガラス部分の手アカ等の拭取り、館内に持ち込まれた土砂の清掃、汚れの除去等巡回清掃の強化を行い、お客様がいつでも快適に施設を利用できるよう心がけた。 〈定期清掃〉 ・館外周の落ち葉の回収、除草、ごみ拾いを適時実施。 ・共有部、展示室内床面の洗浄、保護剤塗布作業を適時実施。 ・IPM関連に基づき、月1回各展示室、収蔵庫等及びふれあい体験室の立体面の除塵作業を博物館・美術館学芸員の立ち会いのもと行った。 ・各フロアのカーペット床面を洗浄機にてカーペット洗浄実施。	指定管理者及び委託先の清掃担当者にヒアリングを実施するとともに、作業計画書、清掃点検表及び清掃業務日報の確認を行った。	仕様書どおり毎日(場所により週2回)の日常清掃と、年3～6回の定期清掃が適切に実施されていた。	良好に実施された。

## (2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1. 施設管理 ①空気調和設備 ②消防設備 ③昇降機設備 ④自家用電気工作物 ⑤駐車場装置 ⑥自動扉開閉装置 ⑦電熱式ユニット型加湿器 ⑧植栽 2. 講堂等設備 ①映写機 ②音響・映像設備 ③舞台機構設備		○	施設の維持管理にあたり定期保守点検業務を行い機器等のトラブルの無いように努めた。	委託先へのヒアリングを実施するとともに、中央監視設備日報、業務実施工程表及び設備点検日誌(各設備ごと)等の確認を行った。	仕様書や標準点検周期、関連法令に基づき、適切に実施されていた。また、効率も考えた運用がなされていた。	良好に実施された。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>1. 警備業務</p> <p>①出入り管理業務</p> <p>②防災監視業務</p> <p>③開館・閉館業務</p> <p>④全館巡回業務</p> <p>⑤非常時の応急処置</p> <p>2. 駐車場管理業務</p> <p>①駐車場管理業務</p>		○	<p>〈警備業務〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通用口での入退館者のチェックの強化を図るとともに記録の厳正化を徹底した。</li> <li>・最終退館者からの事務室鍵の引継ぎを確実に行った。</li> <li>・夜間来館者には注意深く対応した。</li> <li>・火災、事故、盗難等の発生を未然に防ぐため、館内外及び周辺の巡回監視を強化した。</li> <li>・付帯設備の日常点検を行い、不備箇所の早期発見に努めた。</li> <li>・不審者、不正行為者、徘徊者等に適正に対応した。</li> <li>・鍵の貸し出しに細心の注意を払い、鍵借用簿の管理を徹底した。</li> <li>・館内外における拾得物は、総合案内に速やかに届けるとともに夜間・休館日も巡回監視に努めた。</li> </ul> <p>〈駐車場業務〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場及び周辺では人身の安全を第一に監視に努めた。</li> <li>・管理用機器の監視に努めた。</li> <li>・駐車場におけるライト点灯車両、窓空き車両、故障車両等に適宜対応した。</li> <li>・春、秋の団体見学集中期間、バス駐車場の誘導を効率的に対応した。</li> </ul>	<p>指定管理者及び委託先の警備担当にヒアリングを実施するとともに、勤務月間予定表、鍵借用簿、警備日報、警報発令履歴の確認を行った。</p>	<p>仕様書どおり昼間3～4名（駐車場管理含む）、夜間2名が配置されていた。また、警備日報も詳細に記録されており、適切に実施されていた。</p>	<p>良好に実施された。</p>

## (4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設の修繕補修は、1件につき20万円(消費税及び地方消費税含む)未満のものについては指定管理者の責任の範囲において実施。	○		施設の修繕補修は、1件につき20万円(消費税及び地方消費税含む)未満のものについては指定管理者の責任の範囲において実施した。美術館バックヤード天井パネルのカビによる汚染のため、張替え修繕を行った。	適切に実施されていた。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

## (5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要な機器については県と相談し整備する。	○		ビデオカメラハンディカム、アクセサリー一式 液晶テレビ ゲートバー ノートパソコン ハンドヘルドカメラ ポータブルPAシステム	適切に実施されていた。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

## (6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
事件・事故・災害等のリスクを予め想定して対策と訓練を行い、お客様と資料の安全確保に努めます。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災、事故、盗難等の発生を未然に防ぐため、館内外及び周辺の巡回監視を強化した。</li> <li>・付帯設備の日常点検を行い、不備箇所の早期発見に努めた。</li> <li>・不審者、不正行為者、徘徊者等に適正に対応。</li> <li>・鍵の貸し出しに細心の注意を払い、鍵借用簿の管理を徹底した。</li> <li>・館内外における修得物は、総合案内に速やかに届けるとともに夜間・休館日も巡回監視に努めた。</li> <li>・通用口での入退館者のチェック強化を図るとともに記録の厳正化を徹底した。</li> <li>最終退館者からの事務室鍵の引継ぎを確実にを行った。</li> <li>・夜間来館者には注意深く対応した。</li> </ul>	指定管理者及び委託先の警備担当にヒアリングを実施するとともに、勤務予定表、鍵借用簿、警備日報及び警備発令の確認を行った。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加して記入して下さい。

## 2. 運営業務

### (1) 利用実績

#### 1) 利用者数

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に 向けた分析
利用者数	有料入館者数	184,240人	255,831人	138.9%	全体的に計画 値を上回って いる。無料入 館者について は、計画を上 回れるよう誘 客に向けて取 り組む必要が ある。
	無料入館者数	281,077人	252,991人	90.0%	
	合計	465,317人	508,822人	109.3%	

#### 2) 施設稼働率

平均稼働率 (年間開館日数)		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に 向けた分析
全館		303日	300日	99.0%	概ね良好に実施され た。
博物館	常設展示室	303日	300日	99.0%	
	企画・特別展示室	303日	270日	89.1%	
美術館	コレクション展	270日	270日	100.0%	
	企画展示室	303日	215日	71.0%	
県民ギャラリー1		303日	256日	84.5%	県民ギャラリーは、 前年度より稼働率が 上昇しているが、よ り稼働率が上がるよ う取り組む必要があ る。
県民ギャラリー2		303日	223日	73.6%	
県民ギャラリー3		303日	211日	69.6%	

#### 参考) 3年間の利用者数

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数	有料入館者数	273,568人	148,214人	255,831人
	無料入館者数	262,426人	287,025人	252,991人
	合計	535,994人	435,239人	508,822人

参考) 3年間の県外入館者(観光客)数 ※推定値

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
レンタカー (H27:台数×2=人数) (H28,29:台数×2.5=人数)	12,810人	17,200人	17,361人	H27は平均して2人が乗車しているのみなし算出。 H28,29は2.5人で算出。
タクシー (H27:台数×2=人数) (H28,29:台数×2.5=人数)	7,832人	10,168人	9,897人	H27は平均して2人が乗車しているのみなし算出。 H28,29は2.5人で算出。
モノレール	5,085人	10,067人	12,187人	モノレール1日利用券を提示し、割引を受けた来館者を観光客とみなして算出
県外団体	851人	300人	679人	
県外修学旅行	6,106人	6,052人	4,112人	
国外団体	2,077人	2,095人	1,338人	
合計(a)	34,761人	45,882人	45,574人	
年間総入館者数(b)	535,994人	435,239人	508,822人	
入館者数に占める割合 (a)/(b)	6.5%	10.5%	9.0%	
年間入域観光客数(C)	7,936,300人	8,769,200人	9,579,900人	
入域観光客数に占める割合(a)/(c)	0.44%	0.52%	0.48%	

※レンタカー、タクシーによる来館及びモノレール1日利用券を提示し、割引を受けた来館者を県外からの来館者(観光客)とみなして算出。

参考) 3年間の施設稼働率

稼働日数(稼働率)		平成27年度	平成28年度	平成29年度
全館		302日(99.7%)	299日(100%)	300日(99.0%)
博物館	常設展	302日(99.7%)	293日(100%)	300日(99.0%)
	企画・特別展	236日(77.9%) ※準備、片付けは含まない	229日(76.6%) ※準備、片付けは含まない	270日(89.1%) ※準備、片付けを含む
美術館	コレクション展	273日(99.6%)	287日(100%)	270日(100%)
	企画展	239日(78.9%) ※準備、片付けは含まない	192日(64.2%)	215日(71.0%)
県民ギャラリー1		233日(76.9%)	248日(82.9%)	256日(84.5%)
県民ギャラリー2		218日(71.9%)	223日(74.6%)	223日(73.6%)
県民ギャラリー3		175日(57.8%)	175日(58.5%)	211日(69.6%)

## 3) 展覧会入場者実績

	内容	事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率%)	業務改善に向けた分析
博物館入場者数 (人)	常設展 (企画：県) (広報：指)	有料:58,700人	76,684人	130.6%	全体的に計画より高い実績になっているが、計画値より下回っている項目があるので、引き続き誘客に向けた取り組みを実施する必要がある。
		無料:38,000人	35,959人	94.6%	
	企画展・特別展 (企画：指1本、県5本) (広報：指)	有料:34,560人	琉球・沖縄の地図展 (県)：1,418人	99.7%	
			新収蔵展・70年のあゆみ展(県)：2,500人		
			水族館でも会えない海のビックリ展：(指)22,935人		
			ウィルソンが見た沖縄：(県)7,560人		
			大嶺薫展(県)：47人		
		小計:34,460人			
		有料:7,400人	海の沖縄展(県)：7,488人	101.2%	
		合計:41,960人	合計:41,948人	100.0%	
		無料:10,860人	琉球・沖縄の地図展(県)：366人	101.9%	
			新収蔵展・70年のあゆみ展(県)：1,099人		
	水族館でも会えない海のビックリ展(指)：5,565人				
	ウィルソンが見た沖縄(県)：1,296人				
大嶺薫展(県)：2,739人					
小計:11,065人					
無料:950人	海の沖縄展(県)：1,223人		128.7%		
無料:4,000人	首里城の25年(指)：9,509人	237.7%			
合計:15,810人	合計:21,797人	137.9%			
美術館入場者数 (人)	コレクション展 (企画展：県) (広報：指)	有料:27,500人	62,214人	226.2%	
		無料:17,800人	22,622人	127.1%	
	企画展 (企画：指2本、県2本) (広報：指)	有料:56,080人	山元恵一展(県)：581人	133.7%	
			やんばるの森の美一写真展(指)：4,406人		
			Learn&Play!teamLab Future Park展：(指)67,502人		
			邂逅の海(県)：2,496人		
		合計:74,985人			
	無料:16,090人	山元恵一展(県)：222人	61.1%		
		やんばるの森の美一写真展(指)：474人			
		Learn&Play!teamLab Future Park展(指)：8,451人			
邂逅の海(県)：687人					
合計:9,834人					
		271,940人	346,043人	127.2%	

## (2) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>①来館者に接する発券、もぎり、総合案内のスタッフに、館の状況を総合的に把握するリーダーを配置し、臨機応変な来館者サービスを行います。</p> <p>②海外からのお客様も安心して快適に利用できる環境づくりを推進するため、英語での対応が可能なスタッフを配置し、ピクトグラムを活用した「コミュニケーション支援ボード」を整備します。</p> <p>③直感操作で誰でも簡単に扱える音声ガイド「音えんぴつ」を本格的に導入し、急増する中華系観光客の利用サービス向上を図ります。</p>	○	○	<p>来館者サービスの向上を目指し、沖縄美ら島財団スタッフ、委託業者等に所属するバイトスタッフの全体研修を実施した。 「IPMの取組」・「非常時の避難誘導とAEDの使用方 法」・「マニュアル研修」・「グループディスカッション」を行った。</p> <p>来館者サービスの業務に携わるスタッフの意識向上と情報共有を図るとともに、リーダーを配置し、サービスの向上に努めた。</p> <p>その他、企画展の開催前には展示交流員を対象とした研修を実施し、展示概要、監視業務を行う上での注意事項などの研修会を行った。</p>	<p>適切なサービスが行われた。 アンケートでは「スタッフの対応」に対する満足度が高い。 (「非常に満足」、「やや満足」の割合が約60%。「非常に不満」、「やや不満」が1.5%。)</p> <p>※アンケート結果の％は、スタッフ接客対応4項目(①総合案内、②チケット販売、③展示室、④駐車場)の平均。</p>	事業計画どおり適切に実施している。	<p>良好に実施された。駐車場スタッフの満足度が、他の項目と比較すると高くないため、その原因について、しっかり分析を行い、改善を図る必要がある。</p>



(3) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。</p> <p>①「県内外広報ネットワーク」を活用した誘客につながる情報発信</p> <p>国内外での観光プロモーションや県内老人会への個別訪問、お客様の手に本館の情報が直接届く「スマホアプリ」の活用まで、広域かつ緻密なネットワークを活かした広報・プロモーションの展開</p> <p>②国内外の観光客に「選ばれるため」の積極的な誘客・広報活動</p> <p>旅行社とタイアップした「ツアー等旅行商品」の造成や、修学旅行の誘致、周辺ホテル・商業施設と連携した誘客広報、県外観光客・海外観光客向けの誘致活動</p> <p>③質の高い広報を支える「豊富な人材」の活用</p> <p>沖縄美ら海水族館及び海洋博公園・首里城公園の広報・PR経験者を「企画広報事業部責任者」に配置し、当財団の実績豊富なデザイナーやIT技術者が、デザイン制作及びBITを活用したPRのバックアップ</p>		○	<p>年間行事案内を2万5千部作成し、県内外の文化施設等へ配付した。</p> <p>チラシ・ポスターを県内の学校、図書館、文化施設等に配付した。</p> <p>季刊で広報誌を発行した。</p> <p>懸垂幕を館正面入口に設置した広報を行った。</p> <p>沖縄美ら海水族館・首里城公園と連携した、トートリップキャンペーンを実施した。</p> <p>おもろまち駅改札外付近に館までの誘導サインとして、立て看板と天吊パネルを設置し、導線をよりわかりやすくした。</p> <p>新聞紙面に無料、有料広告の掲載した。</p> <p>ニュース報道及びテレビコマーシャルによる広報を行った。</p> <p>ラジオの無料告知及び有料コマーシャルによる広報を行った。</p> <p>インターネットの無料広告サイトによる広報を行った。</p> <p>周辺商業施設5カ所に当館専用のパンフレット設置什器を設置し、年間行事案内や割引券を設置した。</p> <p>10周年記念告知として、のぼりや横断幕を設置した。またゆいレール県庁前駅で告知板を設置したほか、全駅にポスターを掲示した。その他、開館記念日に沖縄タイムスに広告を出稿した。</p> <p>県民や観光客により親しみやすい施設となるよう館愛称、マスコットキャラクターを公募し、愛称「おきみゅー」と公式キャラクターを決定した。</p> <p>東京で開催された「2017ツーリズムEXPOジャパン」にブースを出展した。</p> <p>修学旅行フェア2017in東京及び大阪に参加した。</p>	<p>月間報告及び各媒体の確認、指定管理者へのヒアリングにより実施。</p>	<p>概ね事業計画通りに実施されていた。</p>	<p>様々な広報媒体を活用して館のPRが展開されていた。平成29年度は開館10周年を迎えたことから、愛称と公式キャラクターを新たに設定するなど、様々な取り組みを行った。限られた予算内ではあるが、各展覧会の広報について、博物館班・美術館班と調整の上、展開していく必要がある。</p>

## (4) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
本館の基本理念及び管理規則を遵守するとともに個人情報保護を徹底し、公平・公正で開かれた館の運営を行います。	○		情報システム管理保守を適正に行った。	適切に実施されていた。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

## 3. 自主事業

## (1) 展覧会

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
別添①にて取りまとめ						

## (2) その他 (ミュージアムショップ、カフェ)

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用者の利便性向上を図るため、公有財産の目的外使用を美ら島財団に許可している。ミュージアムショップは美ら島財団の直営、カフェは委託して運営されている。	○	○	ミュージアムショップ 【収益】 5,155万円 (H28年度4,501万円) 【客数】 77,859人 (H28年度56,011人)  カフェ 【収入】 2,380万円 (H28年度1,500万円) 【客数】12,089人 (H28年度9,695人)	/	/	良好に実施された。

## Ⅱ. サービスの質の評価

第三者評価について

総合アンケートを実施。

【総合アンケート】

回収期間：H29. 4～H30. 3

回収件数：1,645件

回収方法：正面玄関入口等に設置

※各アンケートの詳細は別添②参照

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
維持管理業務	<p>〈平均満足度〉 平均的に満足度は高い。施設に関して否定的な意見はほとんど見られない。</p> <p>〈改善要望〉 「博物館のキャプションが見づらい」「順路をもっとわかりやすくしてほしい」「椅子や休憩スペースをもっと増やしてほしい」などの意見があった。</p>	<p>大きな事故や災害などの発生もなく、業務仕様書、管理規則等に基づいて、適切に管理をした。館における最適な環境を維持管理することを第一に目指した。また、施設設備の保守点検や清掃を徹底し、安全に務めた。IPMにおいては、月例で全館合同IPM会議を主催するなど積極的に活動した。</p>	<p>満足度は高く、評価できる。改善要望については、県と定期的開催している連絡調整会議などで協議しながら対応する必要がある。</p>
運営業務	<p>〈平均満足度〉 満足度は昨年度と同等程度。総合アンケートにおいて、利用者の約6割がスタッフ対応に「非常に満足」「やや満足」と回答しており、「やや不満」「非常に不満」は1%程度であった。</p> <p>〈改善要望〉 「注意する言い方が高圧的」「発券スタッフの声が小さい」「スタッフの接客マナーの改善が必要」などの指摘があった。</p>	<p>接客スタッフを対象に、来館者サービスの向上を目的とした研修会を実施。また、企画展ごとの勉強会や改善点の共有を積極的に行い、スタッフの育成に努めてきた結果、大きなトラブルもなく、スムーズに対応することができた。</p>	<p>平均満足度は高く、評価できる。スタッフの対応については、概ね好意的な意見であったが、改善要望があった内容については、丁寧な接客対応に取り組むとともに、引き続き研修等の充実が望まれる。</p>
	<p>〈平均満足度〉 アンケートの回答率が悪いが、満足度は高い。</p> <p>〈改善要望〉 「有名なアーティストの展示会をもっと増やしてほしい」、「写真撮影禁止区域・区別についてもっとわかりやすく表示してほしい」などの意見があった。</p>	<p>県主催の企画展以外の空き期間を有効活用し、県民に文化と触れ合う機会を提供するため、財団の総合研究センターの調査研究実績を活かした自主企画展「やんばるの森の美」「海のびっくり生物展」「平成の復元」、及びマスコミととの共済による「チームラボ展」を実施し、合計で118,842人を動員した。特に「チームラボ展」では75,953人を動員し、美術館企画展の入場記録を更新した。</p>	<p>展示内容に対するアンケート回答率が低いため、アンケートの構成を変えるなど、工夫する必要がある。</p>
総合評価	〈平均満足度〉		

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

## III. サービスの安定性評価

## 1. 事業収入

## (1) 収入

単位：円

収入項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
利用料金収入	博物館観覧料	29,696,000	30,988,930	104.4%	
	美術館観覧料	10,608,000	7,611,540	71.8%	
	その他（年間パスポート等収入）	4,000,000	2,117,700	52.9%	
	施設使用料	36,053,000	34,520,341	95.7%	
指定管理料		302,470,000	302,470,000	100.0%	
自主事業収入		43,536,000	105,205,137	241.7%	計画にはカフェ・ショップ分は含まれていない
雑収益		300,000	3,451,603	1150.5%	
合計（A）		426,663,000	486,365,251	114.0%	
<p>（業務改善に向けた分析）</p> <p>美術館観覧料、その他（年間パスポート等収入）及び施設使用料収入は計画値を下回っているが、博物館観覧料及び自主事業収入は計画値を上回った。平成29年度の収入については、計画額より59,702,251円の増額となった。</p>					

## (2) 支出

単位：円

支出項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
人件費		72,855,000	94,173,391	129.3%	
事務費		19,477,000	13,670,978	70.2%	
施設管理費 ※委託費		185,675,000	184,794,863	99.5%	
光熱水費		100,000,000	111,487,590	111.5%	
修繕費		1,986,000	2,004,118	100.9%	
集客対策費		19,956,000	12,413,733	62.2%	
教育普及事業費		13,000,000	12,168,902	93.6%	
諸経費		400,000	6,200,495	1550.1%	
自主事業費支出		9,808,000	90,483,520	922.5%	計画にはカフェ・ショップ分は含まれていない
雑費		1,200,000	906,431	75.5%	
合計（B）		424,357,000	528,304,021	124.5%	
<p>（業務改善に向けた分析）</p> <p>人件費や光熱水費が計画を大幅に上回っているため、計画策定の際の積算を実情に即したものになるようにする必要がある。 また、自主事業の計画にカフェとショップを含んだ支出額を積算する必要がある。</p>					

## 2. 経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A)－支出(B))	2,306,000円	-41,938,770円	-1818.7%	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	18.8%	15.5%	82.4%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	17.1%	17.8%	104.1%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	43.8%	35.0%	79.9%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	912.0円	1,038.3円	113.8%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	650.0円	594.5円	91.5%	
(業務改善に向けた分析)				
事業収支が大幅赤字となっているため、要因を詳細に分析し、対策を講じる必要がある。				

## ※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費／支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

## 参考) 3年間の事業収入

単位:円

収入項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用料金収入	博物館観覧料	23,053,270	35,055,360	30,988,930	
	美術館観覧料	92,196,510	17,500,830	7,611,540	
	年間パスポート販売	2,503,400	1,482,280	2,117,700	
	施設使用料	30,965,355	52,575,683	34,520,341	
	雑収入	942,542	4,315,112	3,451,603	
利用料金合計		149,661,077	110,929,265	78,690,114	
指定管理料		303,867,000	302,470,000	302,470,000	
自主事業収入	企画事業(展覧会、イベント等)	28,845,142	2,144,582	105,205,137	平成29年度からカフェとショップの収入についても合算している
	教育普及事業(講座等)				
合計(A)		482,373,219	415,543,847	486,365,251	

## 参考) 3年間の事業支出

単位:円

支出項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
人件費		86,231,578	75,362,151	94,173,391	
事務費		8,362,796	14,372,447	13,670,978	
施設管理費		154,385,569	186,555,975	184,794,863	
光熱水費		93,743,820	98,231,145	111,487,590	
修繕費		3,564,594	1,373,294	2,004,118	
集客対策費		7,596,332	18,273,858	12,413,733	
教育普及事業費		13,035,951	12,917,762	12,168,902	
諸経費		3,453,776	6,291,949	6,200,495	
自主事業支出		55,743,875	0	90,483,520	平成29年度からカフェとショップの支出についても合算している
雑費		33,067,538	1,022,373	906,431	
合計(B)		459,185,829	414,400,954	528,304,021	



自主事業名称	実施内容	活動指標	改善分析	実施時期												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4	首里城公園開園25周年記念 沖縄県立博物館・美術館10周年記念 「描かれた首里・那覇～パースアイから見た琉球～」	本展示会は、首里城公園開園25周年、沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念特別展として、両施設が連携し実施した初の企画展示である。財団所蔵の首里城や那覇の街が描かれた屏風や掛け軸を中心に、他館から類似の資料や関連玩具を借出し展示した。屏風ごとに首里城や那覇の街が彼方の違いを解説し、現在の街との比較できる写真パネルも展示した。	【入場者】 15,539人				●	●	●	●					●	
	① 展示解説	首里城公園管理部 調査展示係と沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員による展示解説会を行い、王国時代や廃藩後に描かれた鳥瞰図(屏風・掛軸)の内容や見方などのポイントを解説した。	【参加者】 15人					●								
5	首里城公園開園25周年記念 沖縄県立博物館・美術館10周年記念 「平成の復元 首里城の25年と中城御殿・円覚寺三門」	首里城正殿を中心とした復元施設の根拠資料となる考古遺物や関係資料を展示し、首里城公園復元整備について紹介した。現在進行中の復元整備計画についても紹介したため、平成30年度の完成に向けて興味関心を高めることができた。	【入場者】 9,509人						●	●				●		
	① 展示解説	首里城跡、中城御殿、円覚寺の発掘調査の成果や開園に至るまでの取り組みを紹介した展示内容を企画担当者が解説した。	【参加者】 48人						●							
6	沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念ミュージアムコンサート 「蒼海の響き」	開館10周年の記念事業として、県立芸大と連携したミュージアムコンサートを実施した。企画制作は学生たちが主体隣、約半年かけて取り組んだ。会館10周年記念展のテーマに合わせ、「海」をコンセプトとした楽曲で構成し、舞踊を織り交ぜた華やかな舞台となった。エントランスホールを活用したコンサートの好事例にもなった。	【参加者】 220人									●			●	
7	しまくとぅばプロジェクト2017	「しまくとぅば」は、沖縄独自の伝統文化、芸能など世界観・価値体系の源である。沖縄文化の発信拠点である文化施設として、その世界観―歴史・民族・自然・芸術などを展示や体験などで理解し学習できる環境を生かし、「しまくとぅば」の復興、普及、発展的継承を事業の目的とし、事業を実施した。(全7回)	【参加者】 409人	●	●	●			●	●						●
8	教育普及事業 ふれあい体験室	ふれあい体験室における体験キットの充実・発展を目的に、各分野担当学芸員や専門の指導者と協力して4つのプログラムを開催した。 ①ふれたい博士の「てづくりおもちゃ」4～6月 ②ふれたい博士の「かんたん化石のレプリカづくり」7～9月 ③海へのあこがれ～ジェルキャンドルで小さな海を作ろう！10～12月 ④海へのあこがれ～波もようチートバッグを作ろう！1～3月	【参加者】 1,777人	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9	首里城へおでかけ えの教室	首里城公園と連携し首里城の開設や絵の描き方教室、写生大会、作品展を実施した。(2日間開催)	【参加者】 38人							●	●					



別紙②アンケート集計結果

8.アンケート集計

平成29年度「総合アンケート」集計（集計期間：2017年4月～2018年3月）

（回収件数：1,645、単位：人）

問1 年齢									
①10歳未満	②10代	③20代	④30代	⑤40代	⑥50代	⑦60代	⑧70歳以上	無回答	
78	548	144	146	239	184	150	89	67	
問2 性別									
男性	女性	無回答							
616	976	53							
問3 お住まい									
県内	県外	無回答							
929	638	78							
問4 職業									
①会社員	②公務員	③自営業	④家事	⑤学生	⑥その他	無回答			
43	7	14	26	116	61	1378			
問5 誰と来館したか									
①一人	②友人・知人	③家族	④団体	⑤仕事	⑥修学旅行	⑦ツアー旅行	⑧その他	無回答	
382	327	801	53	13	16	7	16	30	
問6 来館時の交通機関									
①自家用車	②タクシー	③レンタカー	④モノレール	⑤路線バス	⑥観光バス	⑦貸切バス	⑧バイク・自転車	⑨徒歩	⑩その他
696	72	171	313	75	21	1	38	198	8
無回答									
52									
問7 何回目の来館？									
初めて	2回目	3回目	4回目	5回以上	無回答				
773	215	35	252	341	29				
問8 来館目的(複数回答)									
①博物館常設展	②博物館企画・特別展	③美術館コレクション展	④美術館企画展	⑤ふれあい体験室	⑥講座室・講堂での催事	⑦県民ギャラリー	⑧情報センター	⑨その他	
721	378	450	277	163	7	86	35	157	
問9 来館目的となった情報源(複数回答)									
①クチコミ(SNS等)	②テレビ	③ラジオ	④新聞	⑤雑誌	⑥チラシ・ポスター	⑦インターネット	⑧友人・知人	⑨職場	⑩その他
25	170	18	103	42	210	301	245	28	416
問10 来館目的以外に利用した施設(複数回答)									
①博物館常設展	②博物館企画・特別展	③美術館コレクション展	④美術館企画展	⑤ふれあい体験室	⑥講座室・講堂での催事	⑦県民ギャラリー	⑧情報センター	⑨その他	
35	22	22	16	45	5	14	22	26	

問11 どのチケットで入場したか				
①当日券	②前売券	③年間パスポート	④その他	無回答
139	18	9	35	1444

問12 展示内容について				
①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	無回答
113	86	7	6	1433

問13 常設展も併せて観たか

①観た	②観なかった	無回答
104	93	1448

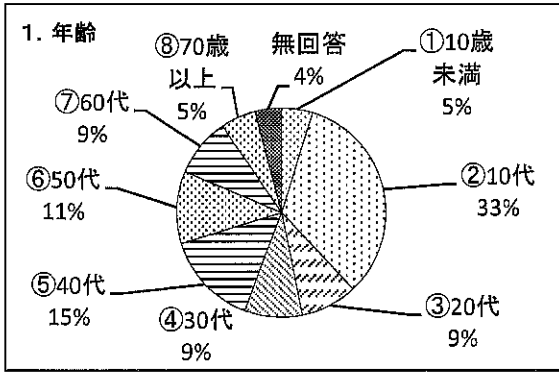
問14 当館をご利用になって						
総合案内係の対応	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	738	339	8	12	37	511
チケット販売係の対応	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	705	319	14	10	57	540
展示室係の対応	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	682	316	17	15	32	583
駐車場係の対応	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	547	255	6	14	76	747
案内板・サイン	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	無回答	
	42	102	23	9	1469	
カフェ「カメカメキッチン」	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	17	34	2	4	116	1472
ショップ「ゆいむい」	①大変満足	②満足	③不満	④大変不満	⑤利用していない	無回答
	32	54	5	5	82	1467

問15 博物館・美術館でやってみたいこと、やってほしいこと(複数回答可)	
①アニメ、マンガ、ファッションに関する展示を観たい	365
②有名な作品が見たい	331
③子どもの学習や自由研究に活かせる展示を観たい	359
④家族で楽しめる展示を観たい	308
⑤沖縄の歴史・文化・自然・美術等について学びたい	510
⑥沖縄の伝統文化や生活様式等を体験・体感したい	372
⑦作品発表会や芸能公演、ライブ・パフォーマンス等への開催・参加	156
⑧オリジナルグッズの購入	247
⑨沖縄の美術工芸品や工芸品、雑貨類の購入	219
⑩沖縄の伝統料理や菓子等を味わいたい	298
⑪子ども(乳幼児含む)と一緒にくつろぎながら作品を観賞したい	124
⑫その他	19

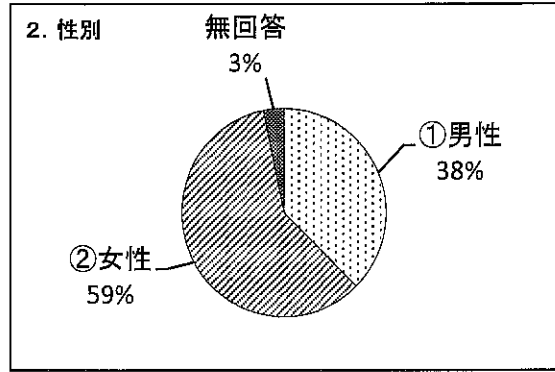
問16 ご意見・ご要望

→ 各月の月報に掲載しているため省略

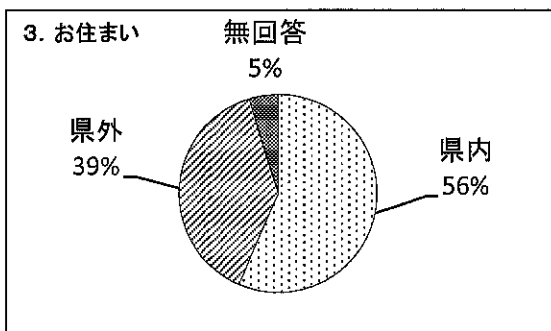
問1 年齢



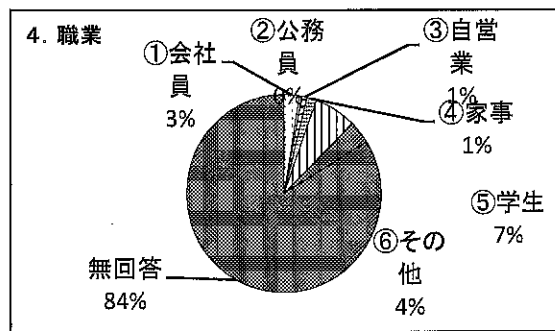
問2 性別



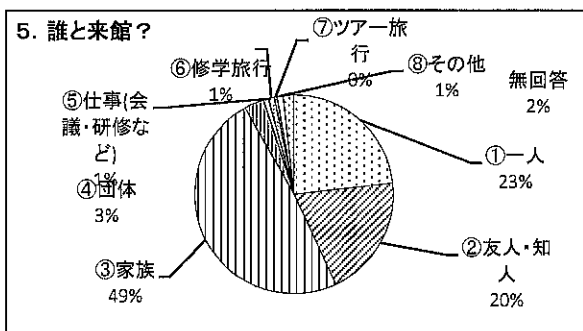
問3 お住まい



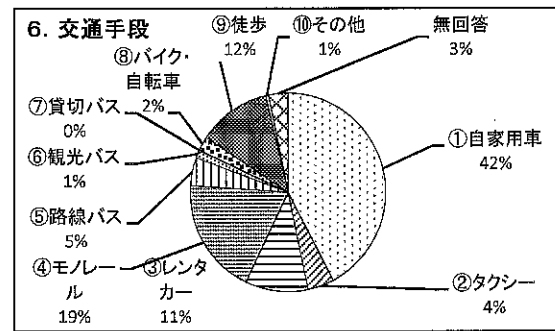
問4 職業



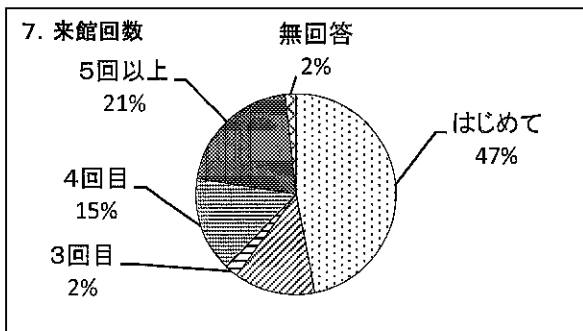
問5 誰と来館したか



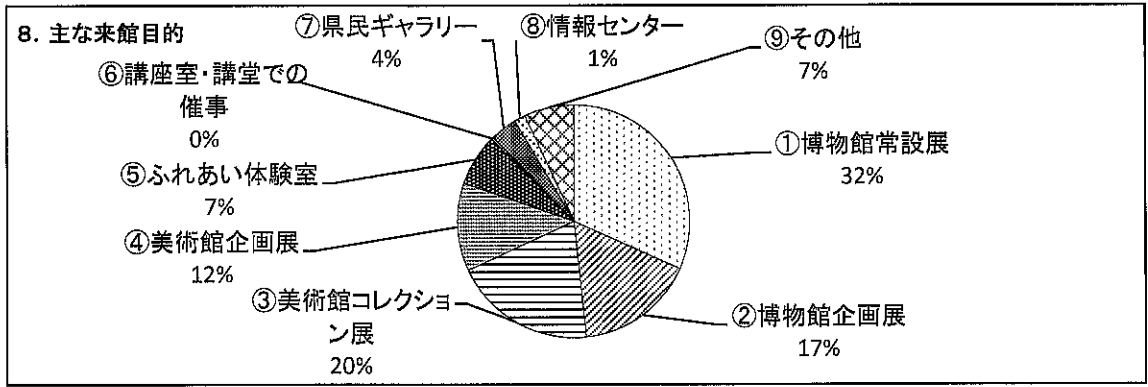
問6 来館時の交通機関



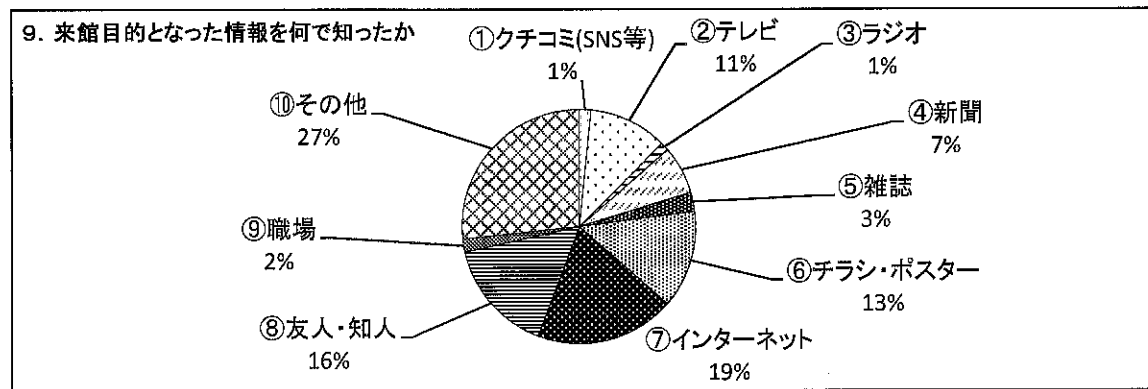
問7 何回目の来館?



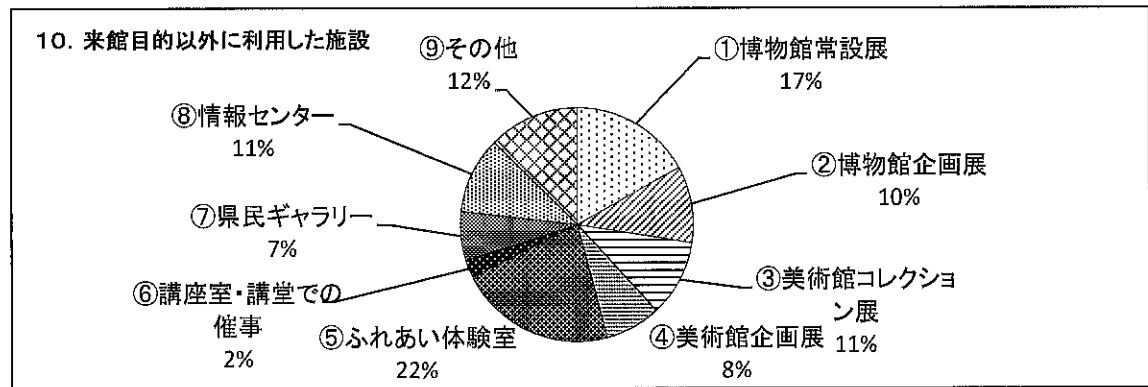
問8 来館目的(複数回答)



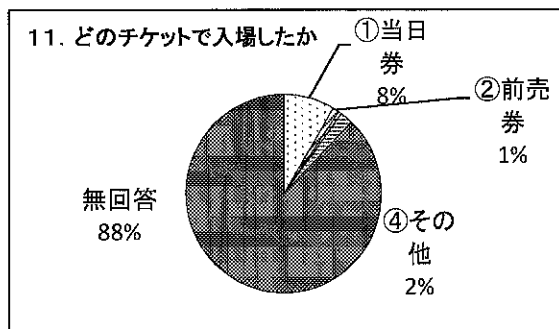
問9 来館目的となった情報源(複数回答)



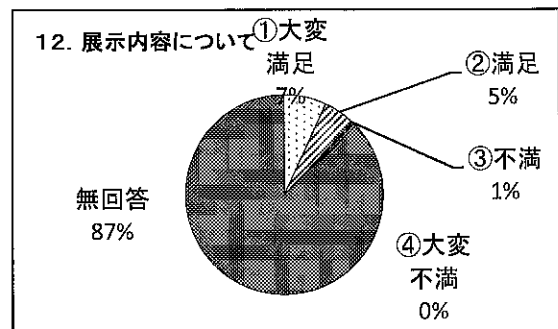
問10 来館目的以外に利用した施設(複数回答)



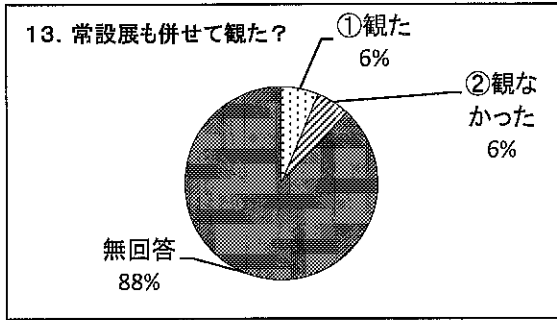
問11 どのチケットで入場したか



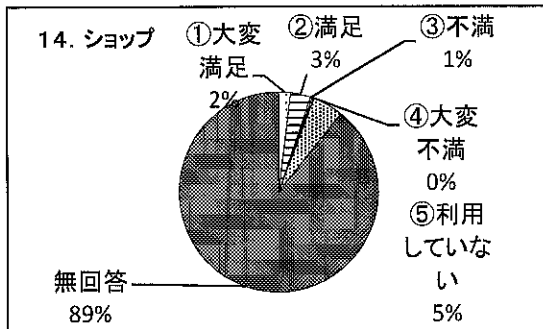
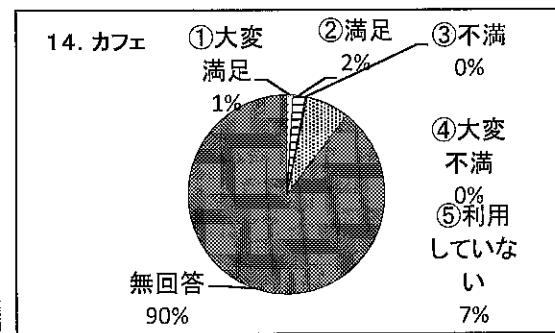
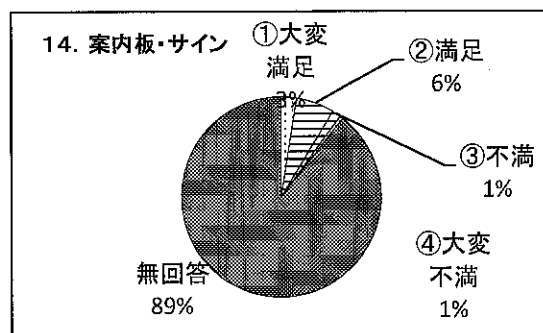
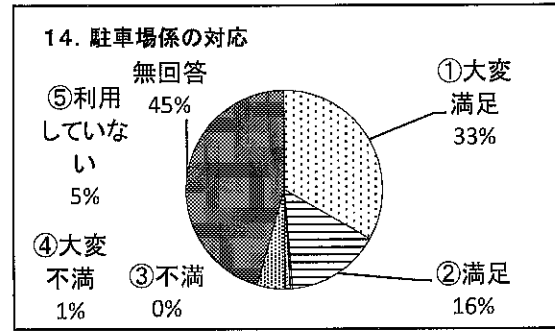
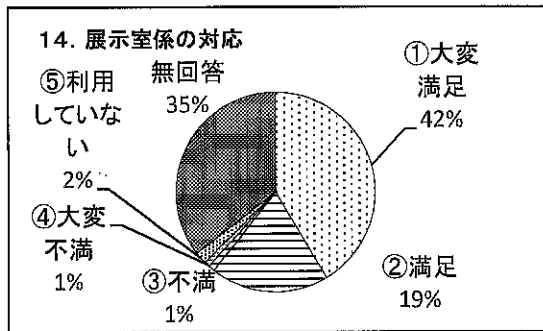
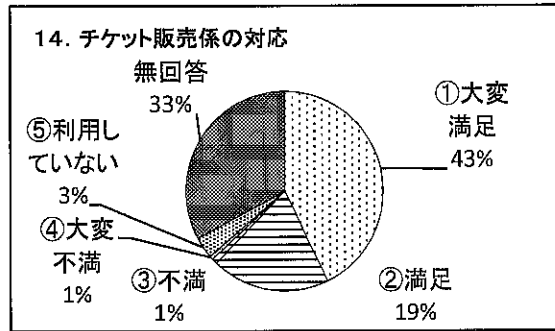
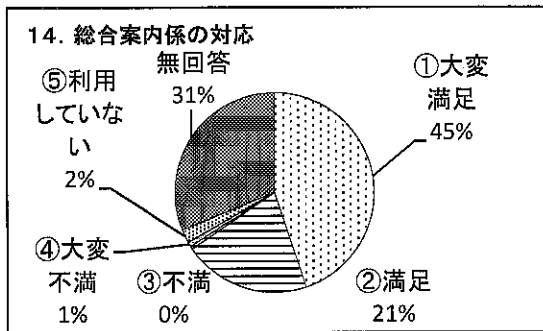
問12 展示内容について



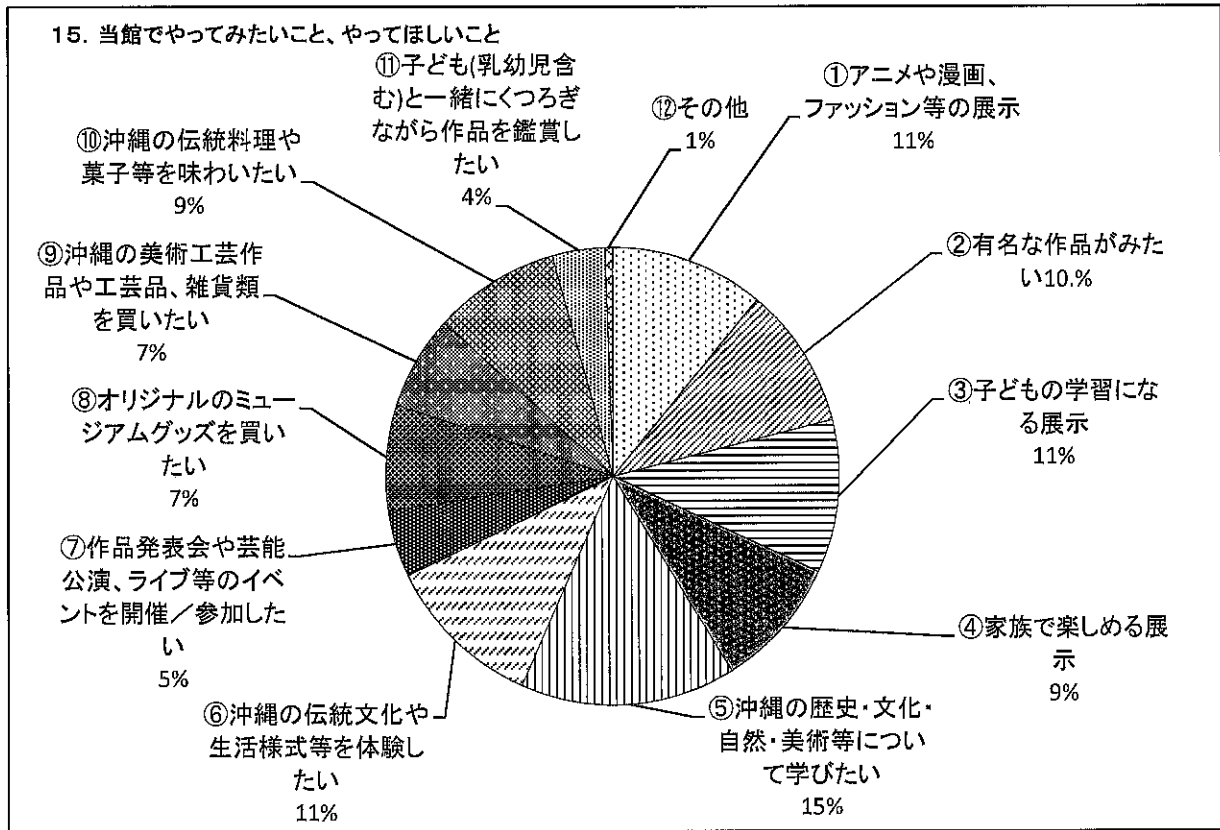
問13 常設展も併せて観たか



問14 当館をご利用になって



問15 博物館・美術館でやってみたいこと、やってほしいこと(複数回答可)



問16 ご意見・ご要望

→ 各月の月報に掲載しているため省略

## 労働条件等自主点検表

施設名	沖縄県立博物館・美術館
指定管理者名	一般財団法人 沖縄美ら島財団

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所には○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果																									
<p><b>1 労働条件の明示</b> 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職(解雇の事由を含む。)については、書面を交付しなければなりません[労働基準法(以下「法」といいます。)第15条]</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																					
	○ 1	2	3	4	5																					
(3～5については、改善が必要です)																										
<p><b>2 就業規則</b> 就業規則(労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職(解雇の事由を含む。)等、労働条件の具体的細目を定めた規則)を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者(パートタイム労働者を含む。)を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません(法第89条) また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません(法第106条)</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																								
	1	○ 2	3	4	5																					
(3～5については、改善が必要です)																										
<p><b>3 所定休日</b> 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません(法第35条)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3">週休2日制</th> <th colspan="2">週休1日制</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <th>完全(毎週)</th> <th>月3回</th> <th>隔週</th> <th>月1～2回</th> <th>週1日</th> <th>4週4日</th> <th>4週3日以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">○ 1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table>						週休2日制			週休1日制		その他	完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	○ 1	2	3	4	5	6	7
週休2日制			週休1日制		その他																					
完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																				
○ 1	2	3	4	5	6	7																				
(7については、改善が必要です)																										

4 年次有給休暇  
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断  
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。  
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
1	2	3

(2、3については、改善が必要です)

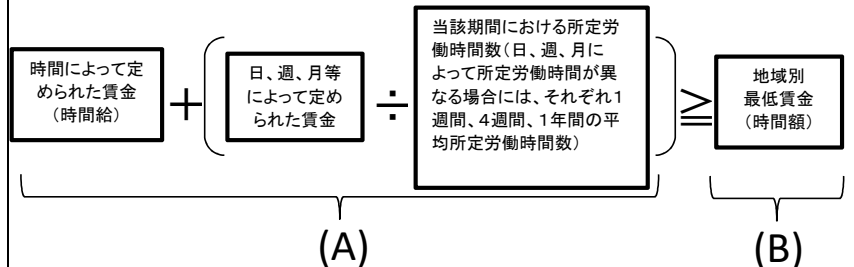
6 最低賃金  
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。  
① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)  
② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)  
③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金  
④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
1	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金  
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)



8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険 加入従業員数	うち雇用保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	80	23	57

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	加入条件を満たしている従業員は全て加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	加入要件を満たしていないため。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険 加入従業員数	うち健康保険 未加入従業員数	うち厚生年金保険 加入従業員数	うち厚生年金保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	80	23	57	23	57

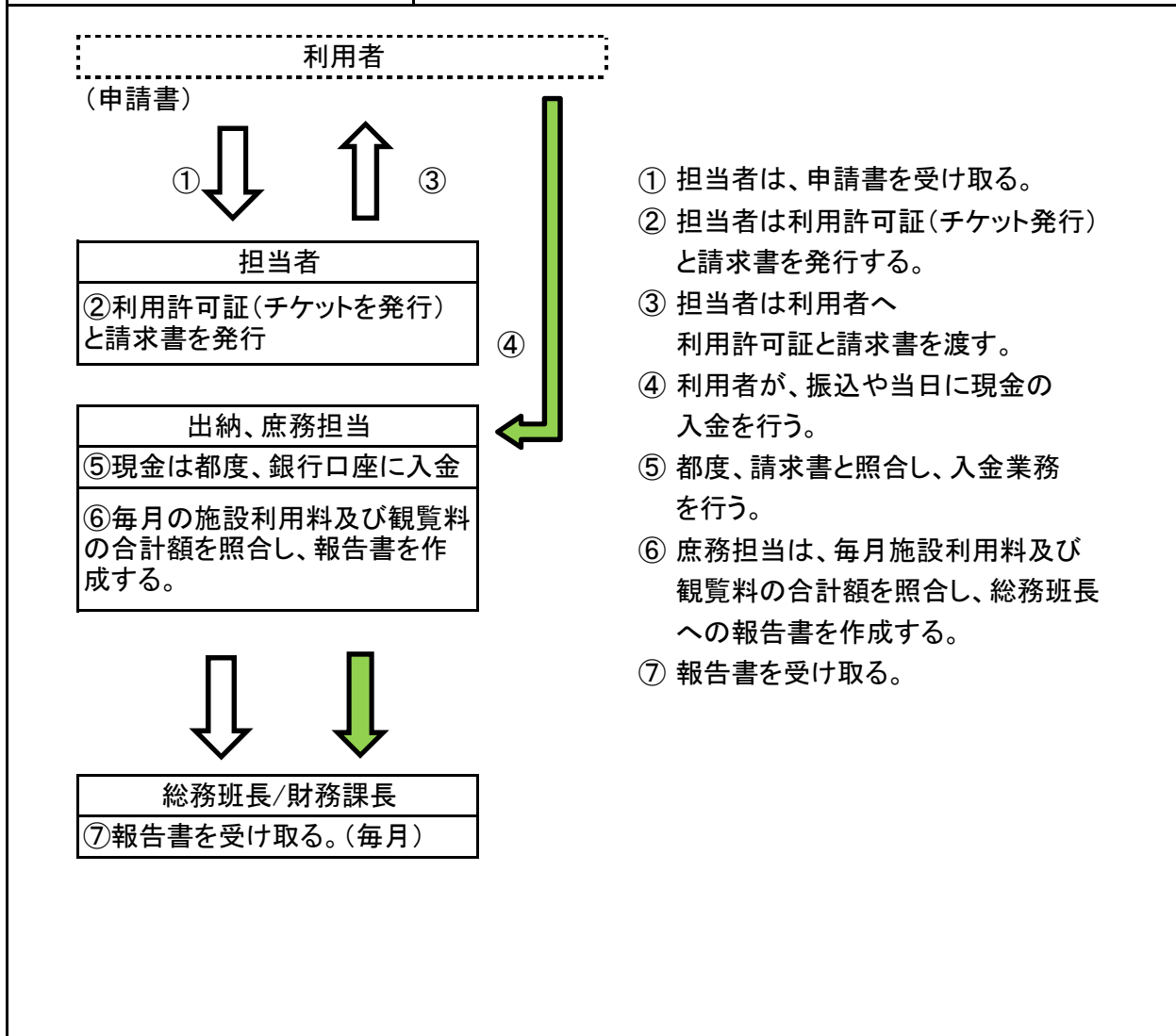
確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	加入条件を満たしている従業員は全て加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	加入要件を満たしていないため。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

料金徴収フロー図			
利用料金の名称	観覧料及び施設利用料	施設の名称	沖縄県立博物館・美術館

フロー図	利用料金の種類と金額
<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> …… 職員等</div> <div><span style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> …… 職員等以外</div> <div><span style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px;"></span> …… 書類等の流れ</div> <div><span style="border-bottom: 1px solid green; display: inline-block; width: 20px;"></span> …… 現金の流れ</div> </div>	<p>別紙資料添付</p> <p>※利用料金が多種類ある場合は、別紙とすることも可能。 (備考)</p>



料金徴収フロー図

利用料金の名称	観覧料及び施設利用料	施設の名称	沖縄県立博物館・美術館
---------	------------	-------	-------------

利用料金の種類と金額

【観覧料料金】

■常設展

区分	博物館常設展		美術館コレクション展	
	個人	団体	個人	団体
一般	410円	330円	310円	250円
高大生	260円	210円	210円	170円
県外小中生	150円	120円	100円	80円

■企画展・特別展

企画展又は特別展は、3,090円を超えない範囲内で、その都度、決定する。

■年間パスポート

	観覧できる 展覧会	料金の種類	一般	高校生	小・中学生		70歳以上	
				大学生	県外	県内		
全館	プレミアム メンバー	博物館 美術館	年会費	7,400	4,900	2,900	2,200	6,400
			更新割引	6,900	4,400	2,400	1,700	5,900
博物館	スペシャ ルメン バー	博物館 すべての 展覧会	年会費	3,900	2,500	1,400	1,050	3,200
			更新割引	3,600	2,200	1,200	900	2,900
	スタン ダードメン バー	博物館 常設展	年会費	1,200	750	450	無料	無料
			更新割引	—	—	—	—	—
美術館	スペシャ ルメン バー	美術館 すべての 展覧会	年会費	4,100	2,800	1,500	1,200	3,200
			更新割引	3,800	2,500	1,200	900	2,900
	スタン ダードメン バー	美術館 コレクショ ン展	年会費	900	600	300	無料	無料
			更新割引	—	—	—	—	—

## 料金徴収フロー図

利用料金の名称	観覧料及び施設利用料	施設の名称	沖縄県立博物館・美術館
---------	------------	-------	-------------

## 利用料金の種類と金額

## 【施設利用料】

## 施設利用料金

施設区分 (利用単位)	入場料を徴収 しない場合	入場料を徴収 する場合	空調設備 (1時間)	
博物館施設 (1日)	企画展示室	29,330円	650円	
	特別展示室	38,410円	850円	
	実習室	9,720円	29,160円	200円
		(4,860円)	(14,580円)	
講座室	17,170円	51,510円	350円	
	(8,585円)	(25,755円)		
美術館施設 (1日)	県民ギャラリー1	8,580円	180円	
	県民ギャラリー2	7,940円	170円	
	県民ギャラリー3	7,940円	190円	
	県民ギャラリー スタジオ	8,850円		入場料を徴収する 場合はお貸し出 来ません。
		(4,425円)		
	県民アトリエ	7,060円	21,170円	150円
		(3,530円)	(10,585円)	
	こどもアトリエ	7,560円	22,680円	170円
		(3,780円)	(11,340円)	
	企画展示室1	33,070円	99,190円	730円
企画展示室2	41,020円	123,080円	910円	
講座室	9,830円	29,480円	210円	
	(4,915円)	(14,740円)		
その他 (1時間)	講堂	3,680円	11,010円	610円

※( )内は、準備・片付けを含めてご利用が4時間以内の施設利用料です。

## 附属設備(冷房設備を除く。)の利用料金

種別	品名	金額	利用単位
演台器具	演台	330円	1台
	花台	110円	1台
	司会台	160円	1台
音響器具	メインスピーカー	1,080円	1式
	ワイヤレスマイク	650円	1本
	ダイナミックマイク	220円	1本
	バウンダリーマイク	330円	1本
	ビデオテープレコーダー	760円	1台
	DVDプレーヤー	1,350円	1台
	CD、MDプレーヤー	430円	1台
	HD/DVDレコーダー	1,350円	1台
照明器具	ポーターライト	330円	1列
	サスペンションライト	540円	1列
	アッパー・ホリゾンライト	760円	1列
	シーリングライト	650円	1列
	センターピンスポットライト	430円	1台
その他	書画カメラ	860円	1台
	ビデオプロジェクター	1,510円	1台
	電動スクリーン	1,190円	1式